

# リオン株式会社

## 2018年3月期 第2四半期決算説明会

東証一部 証券コード〈6823〉

免責事項 | 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# I 当第2四半期の実績

常務取締役 大内 武彦



## 第2四半期として過去最高の利益を更新

- 医療機器事業が伸び悩んだが、環境機器事業が大幅な増収増益を達成

## 期初予想に変更なし

- 補聴器は8月に発売した最上位機種（リオネットシリーズ）の拡販に注力することで売上の回復を見込む
- 環境機器事業の好調は継続する見込み

## 売上の増加とともに売上原価率と販管費を低減

(単位：百万円)

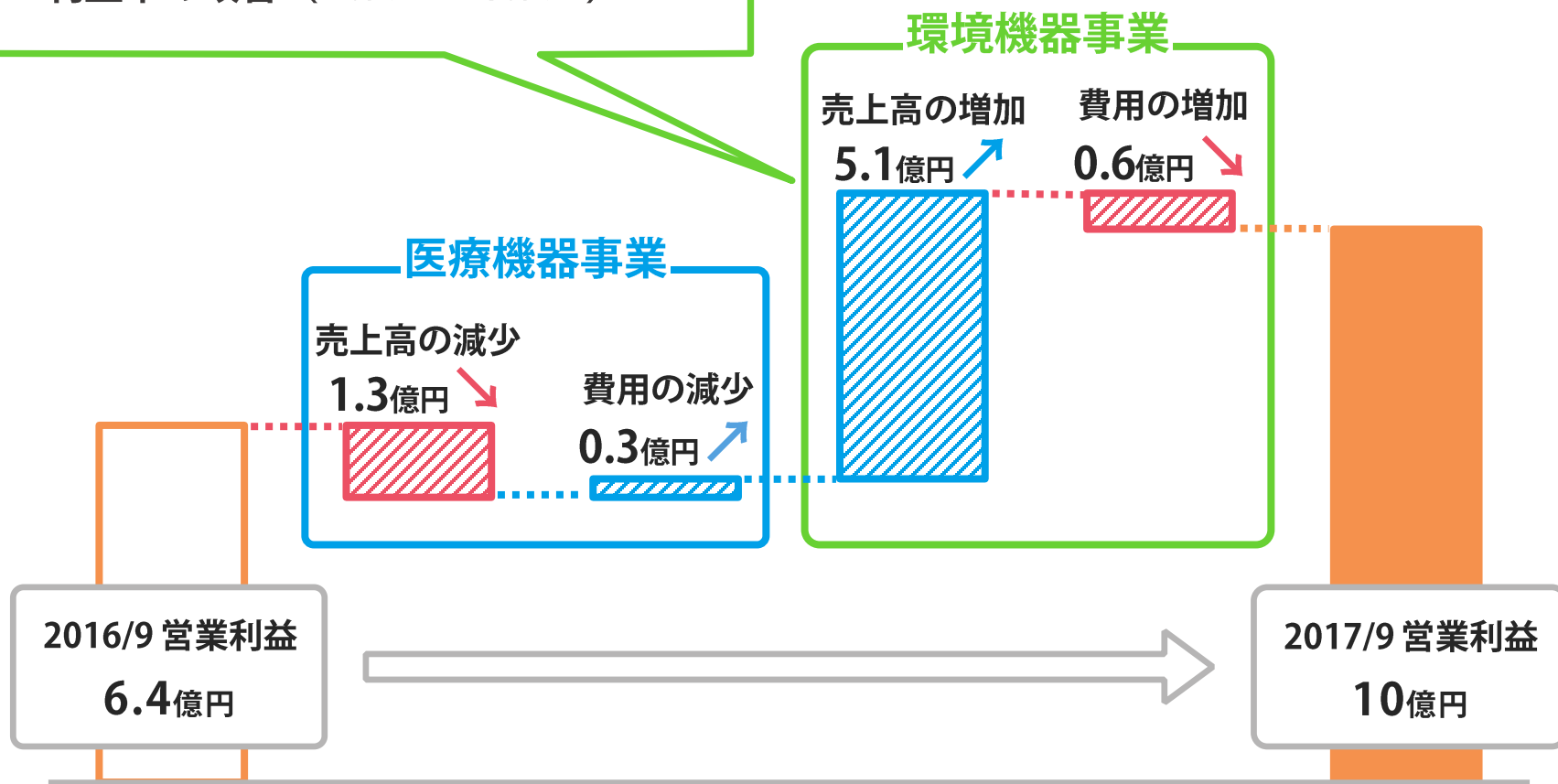
	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	9,101	9,488	387	4.3
医療機器事業	5,717	5,587	△130	△2.3
環境機器事業	3,384	3,901	517	15.3
売上原価	4,273 (47.0)	4,357 (45.9)	83	1.9
売上総利益	4,827 (53.0)	5,131 (54.1)	303	6.3
販売費及び一般管理費	4,182 (46.0)	4,131 (43.5)	△51	△1.2
営業利益	645 (7.1)	1,000 (10.5)	355	55.1
医療機器事業	499 (8.7)	402 (7.2)	△96	△19.4
環境機器事業	145 (4.3)	597 (15.3)	451	310.9
経常利益	680 (7.5)	1,055 (11.1)	374	55.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	476 (5.2)	746 (7.9)	269	56.7

※( )内は対売上高比率：%

# 営業利益の増加要因

- 音響・振動計測器の増収 ( ↗ 2.3億円)
- 微粒子計測器の増収 ( ↗ 2.8億円)
- 利益率の改善 ( 4.3%→15.3%)

環境機器事業の売上増加が  
利益を押し上げ



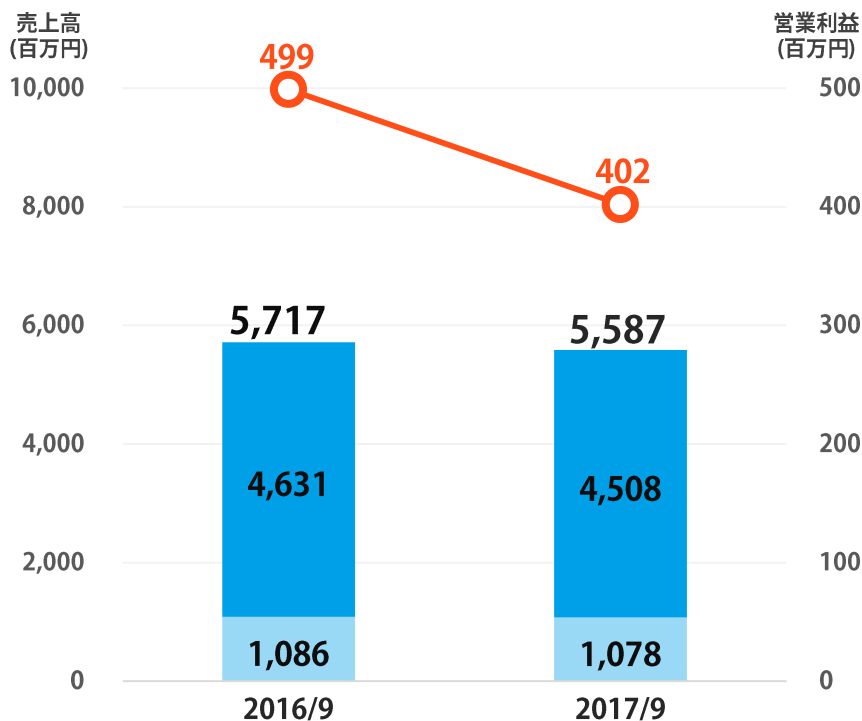
## 補聴器の伸び悩みにより、減収減益

売上高	医療機器事業	前年同期比	2.3% ↓
売上高	補聴器	前年同期比	2.6% ↓
売上高	医用検査機器	前年同期比	0.7% ↓
営業利益		前年同期比	19.4% ↓

### 補聴器



8月発売の最上位機種が好調な滑り出しとなったものの、全体として販売が伸び悩んだことで減収に。



### 医用検査機器



診断用の聴力検査機器が前年同期に及ばなかったものの、大型の聴力検査室などの販売が好調。ほぼ前年同期並みの売り上げとなる。

## 大幅な増収増益を達成

売上高	環境機器事業	前年同期比	15.3% ↗
売上高	音響・振動計測器	前年同期比	12.8% ↗
売上高	微粒子計測器	前年同期比	18.2% ↗
営業利益		前年同期比	310.9% ↗

### 音響・振動計測器

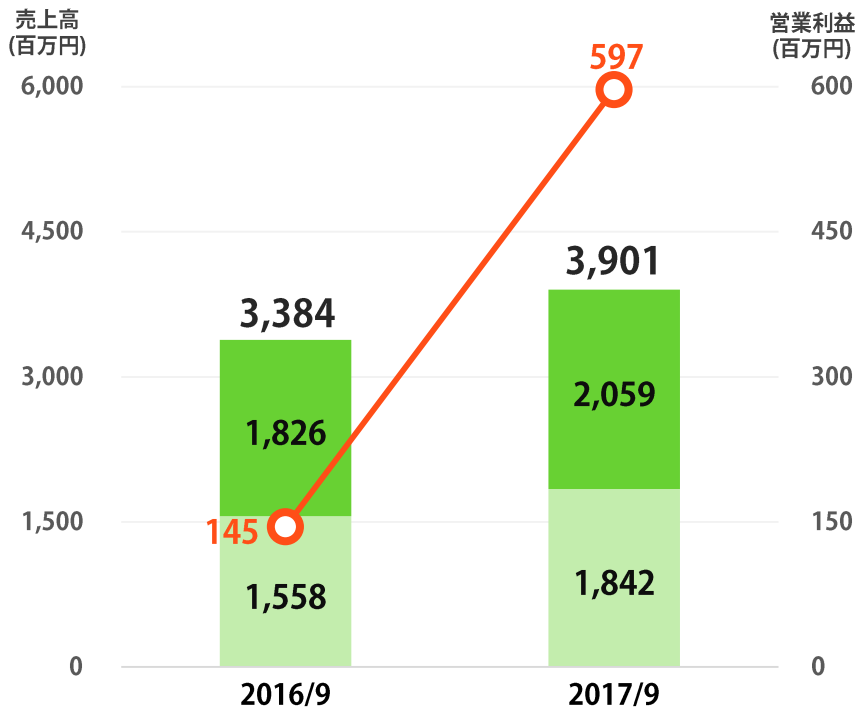


建設工事の活況により騒音計や振動計の販売が好調に推移したほか、自動車産業等における受注が回復し、増収に。

### 微粒子計測器

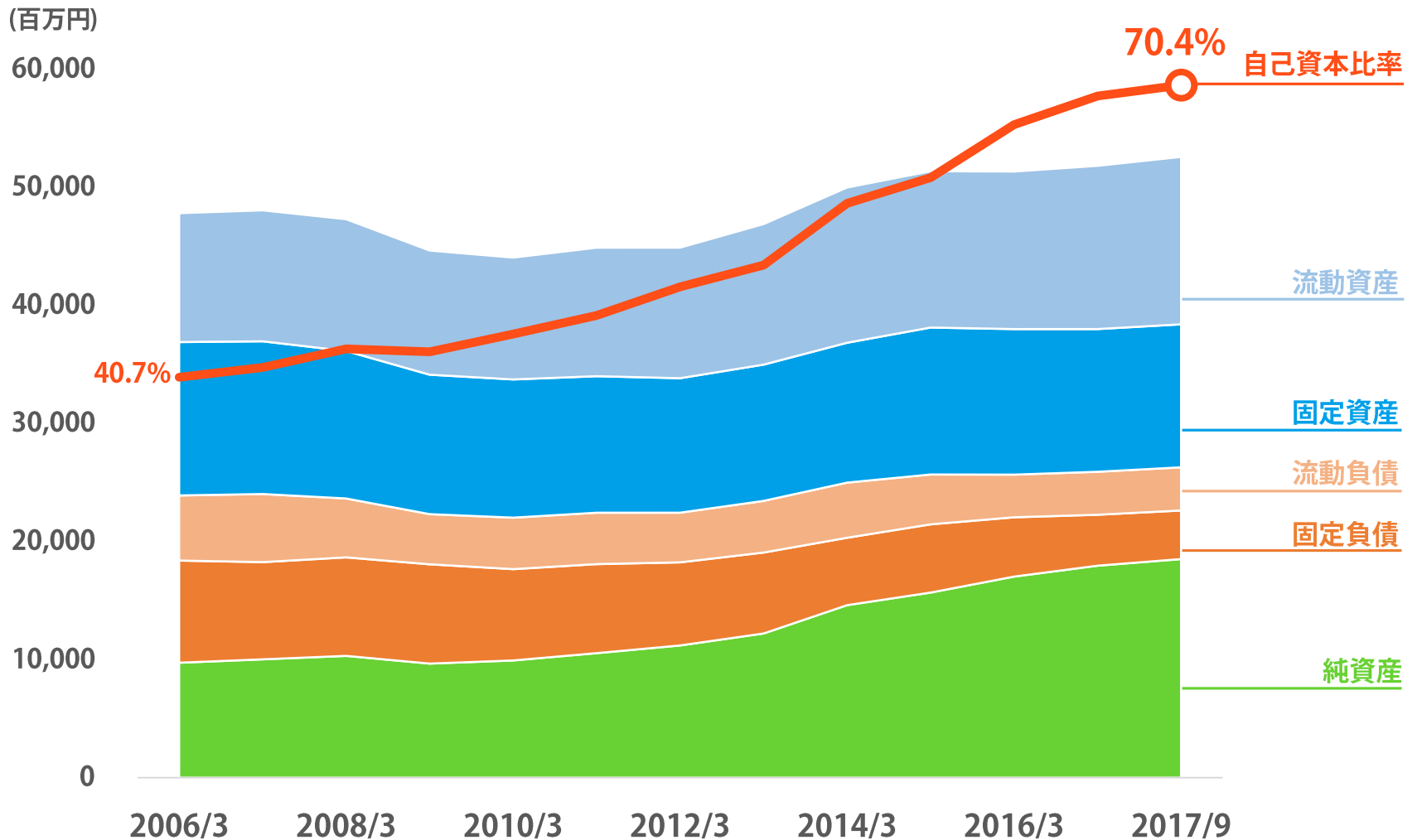


半導体関連市場における液中微粒子計の販売が依然として好調に推移。ハンディタイプの気中微粒子計の販売も増加し、大幅な増収を達成。



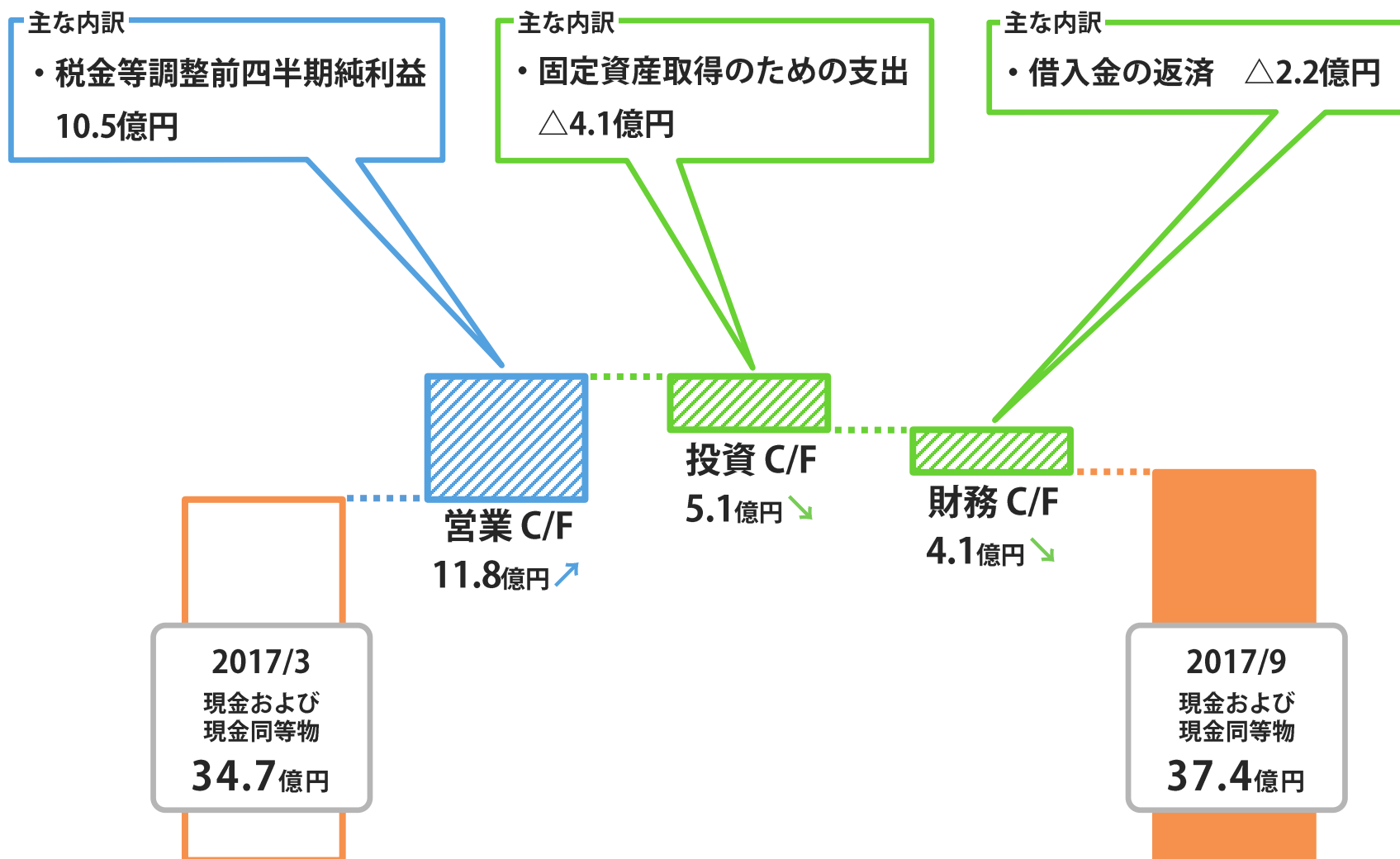
# 連結貸借対照表の推移

## 財務体質の改善が進む





# 連結キャッシュ・フロー



## II 増収増益の背景と 通期の見通し

- 音響・振動計測器
- 微粒子計測器
- 製品群別の通期見通しについて

代表取締役社長 清水 健一



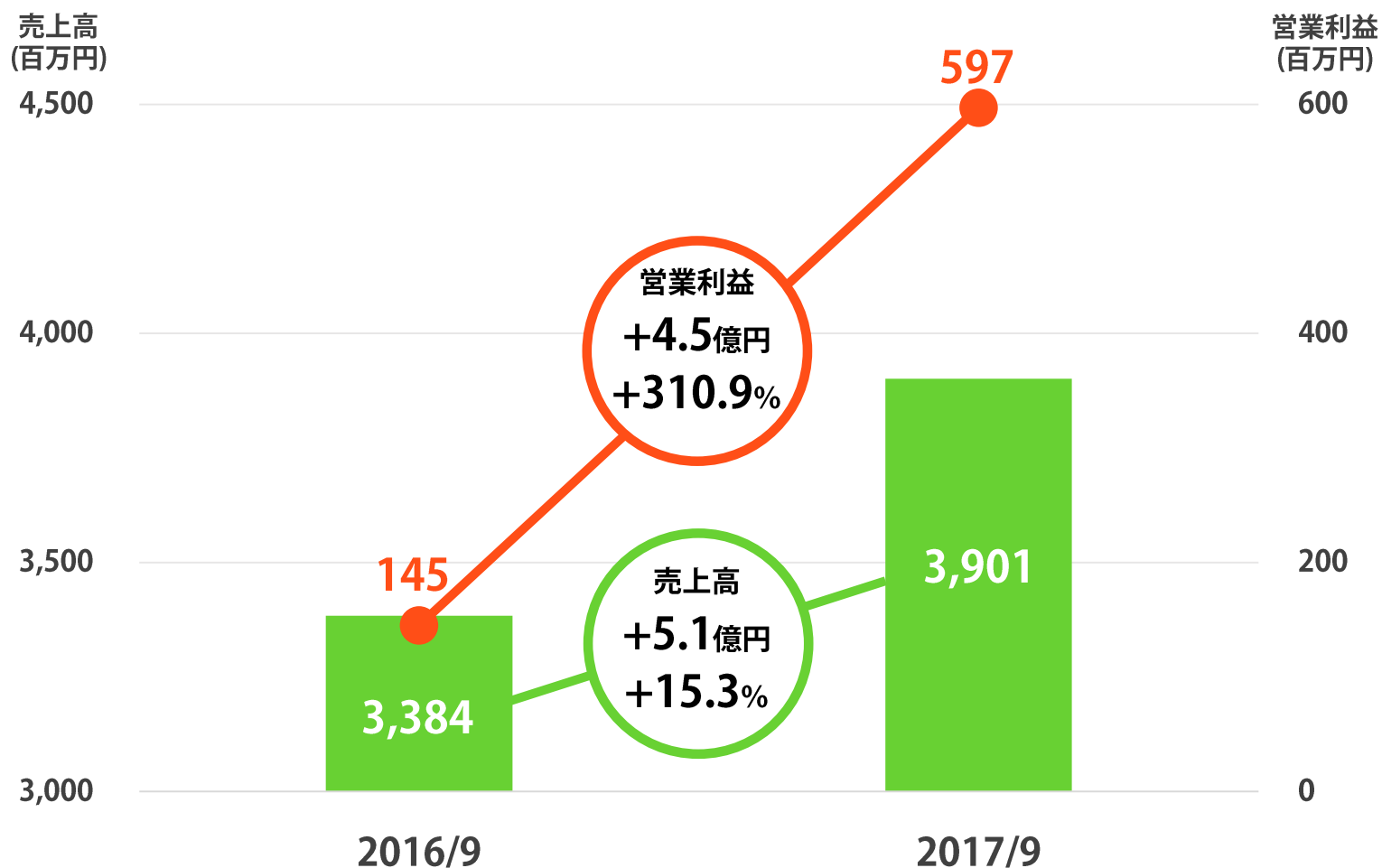
# 最高益は環境機器事業が牽引

## 医療機器事業

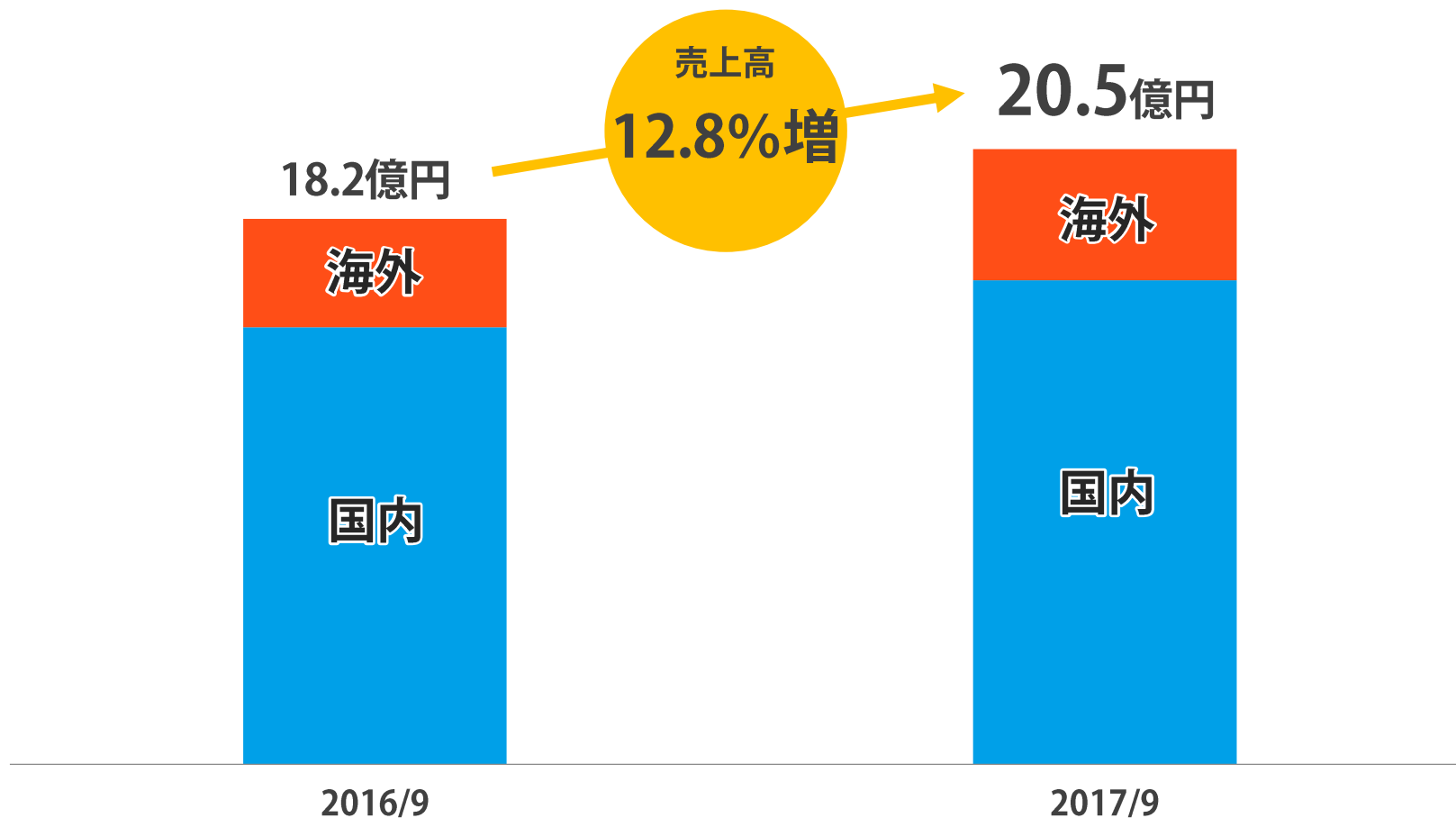
## 環境機器事業



# 環境機器事業は大幅に増収増益



# 音響・振動計測器



51%

## 環境計測市場

騒音規制法の影響を受ける現場

- 建設現場
- 道路などの騒音管理
- 航空機の騒音監視



安定した需要が続く

49%

## 産業計測市場

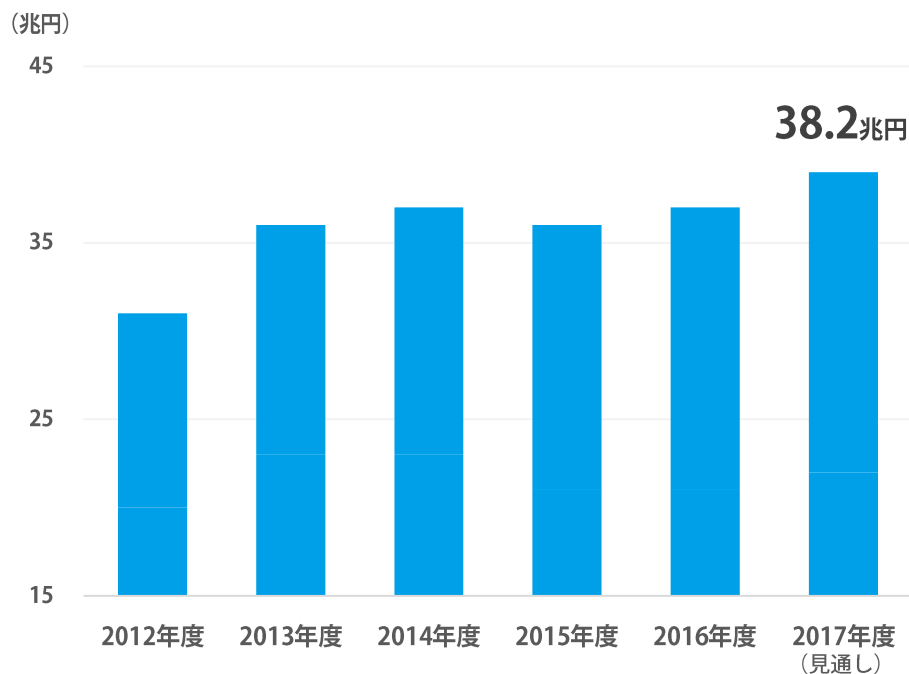
製品開発や製造工程の品質管理

- 自動車関連
- 家電製品



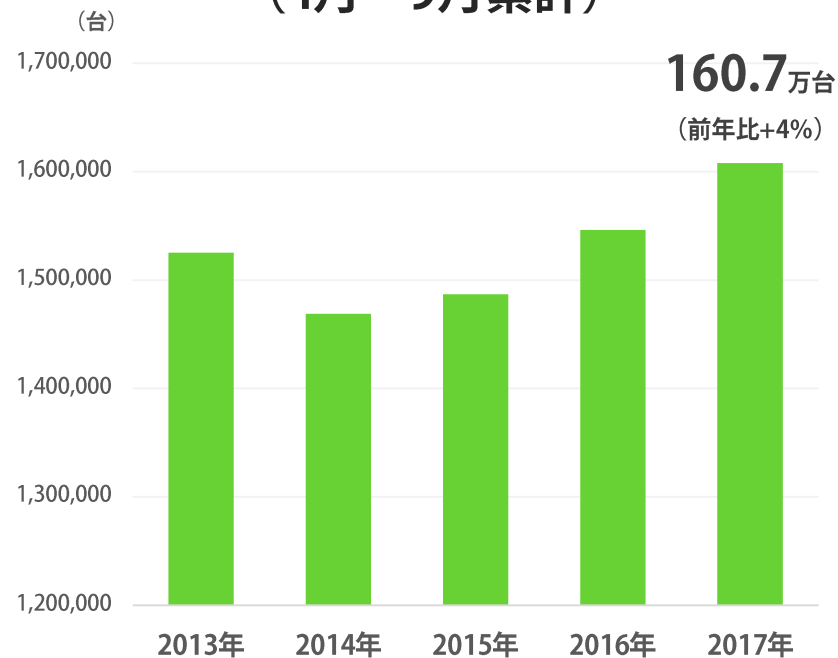
自動車関連産業を中心に  
販売が大きく増加

## 建設投資額（非住宅・名目値）の推移



出典：国土交通省 総合政策局 建設経済統計調査室  
平成29年度建設投資見通しより

## 国内の自動車販売台数 (4月～9月累計)



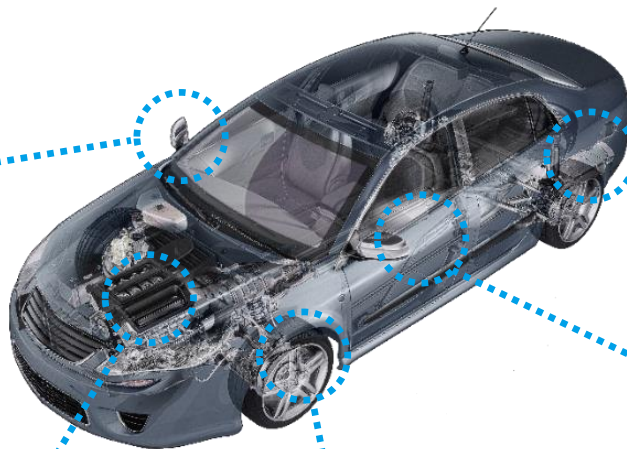
出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会資料より

# 建設および自動車関連の市況は好調

# 音響・振動計測器の使用例 | 自動車関連



ミラー、ワイパーなどに使われる  
モーターの特性の評価



マフラーの消音性能の試験



トランスミッションの振動・異音検査



ブレーキ音の試験



吸音材・ドアの開閉音の評価



騒音計・振動計



分析器

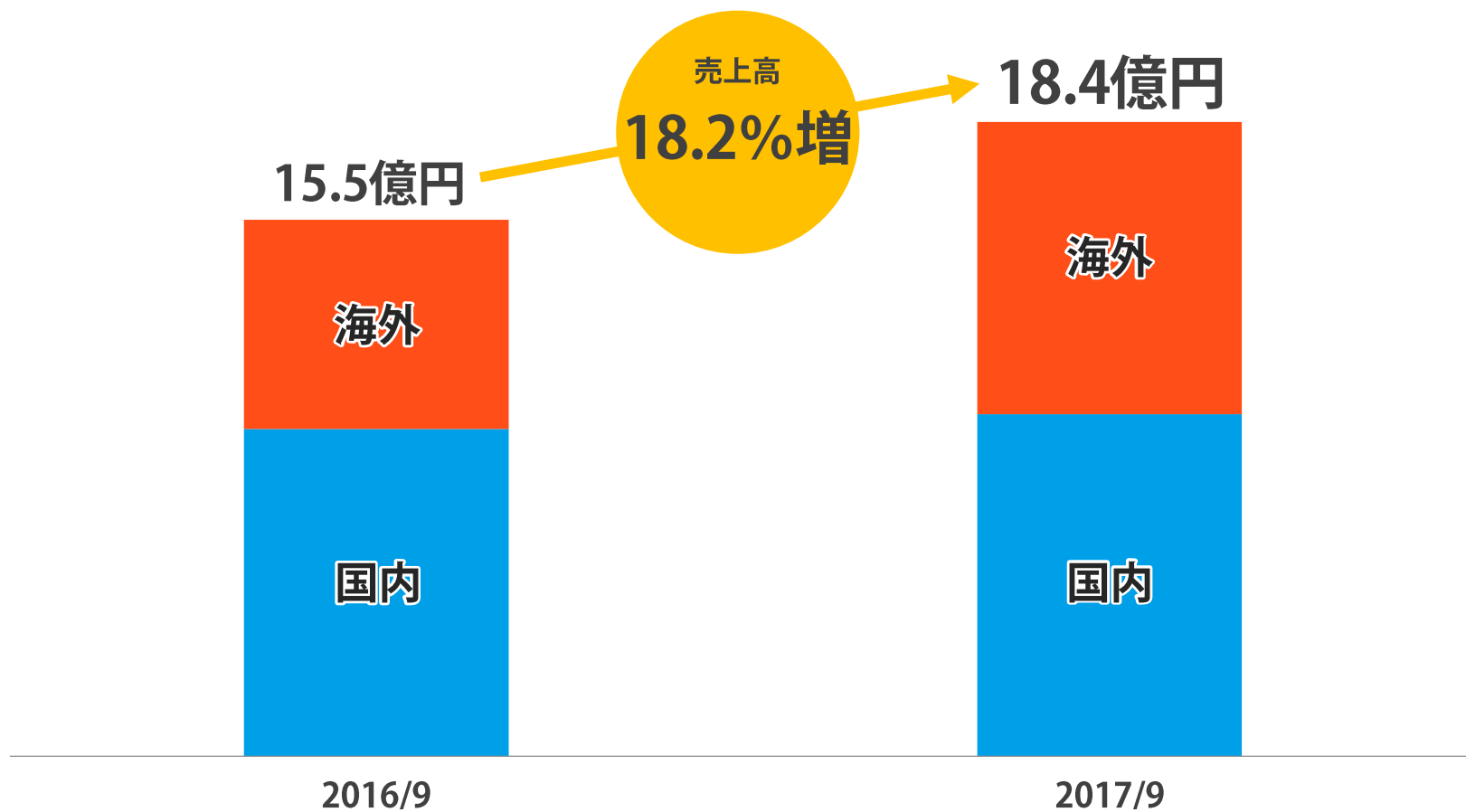


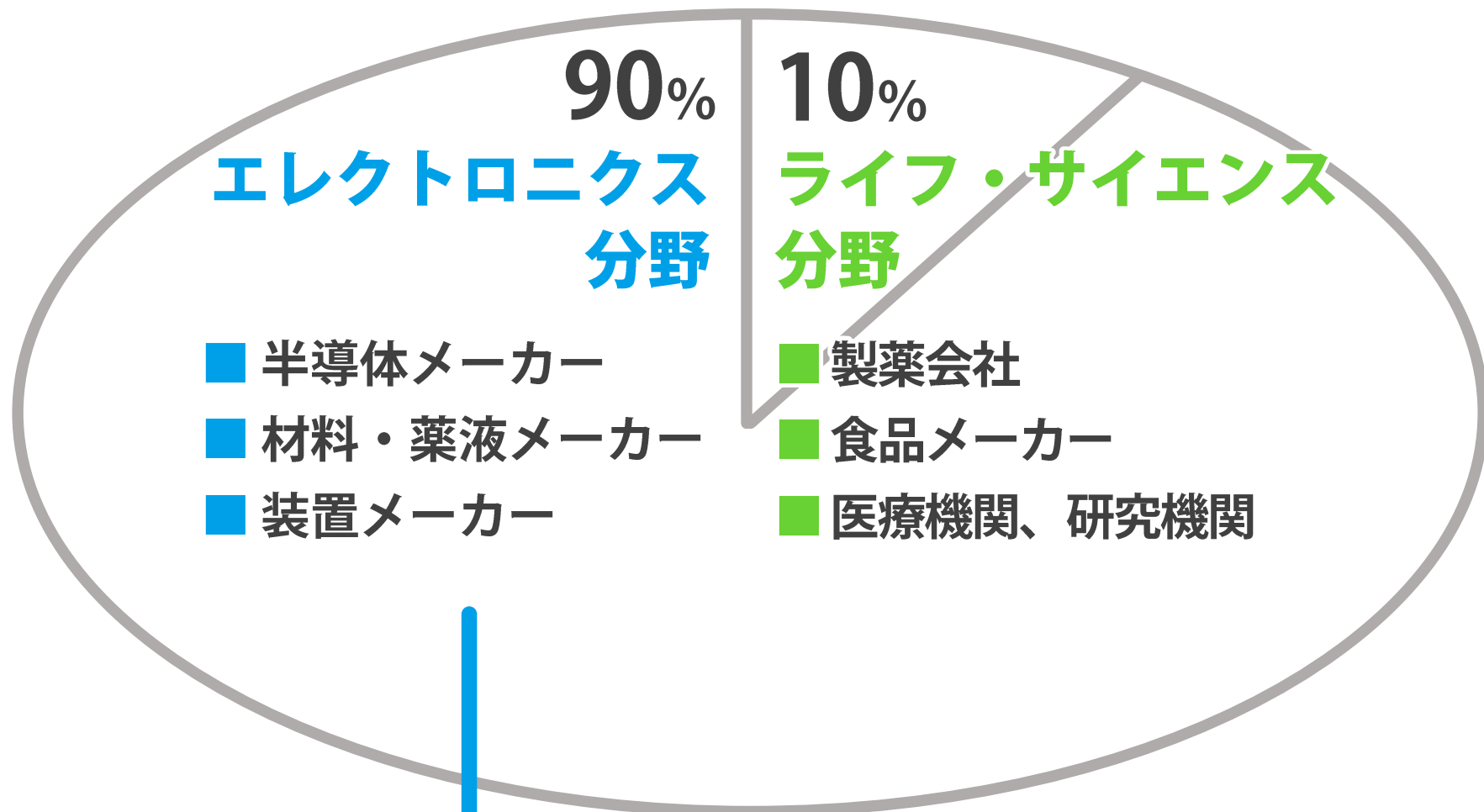
多機能計測システム「SA-A1」

自動車の開発・製造の  
さまざまな場面で活躍



# 微粒子計測器





半導体関連市場向けの売上が拡大



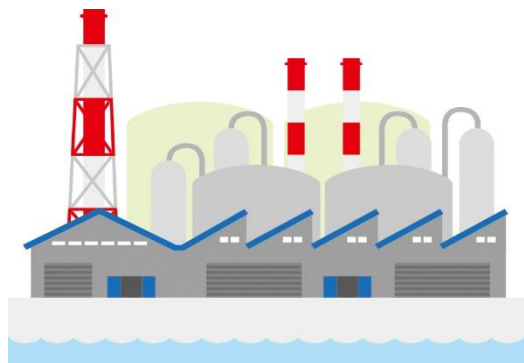
KS-19F (2014年2月発売)

他社に先駆けて発売した  
30nmの粒子を計測可能な機器が  
最先端の現場で信頼を獲得

**半導体、薬液メーカーから“指名買い”**

# 微粒子計測器が使われている現場

## 薬液メーカー



製造した薬液※の  
清浄度を管理



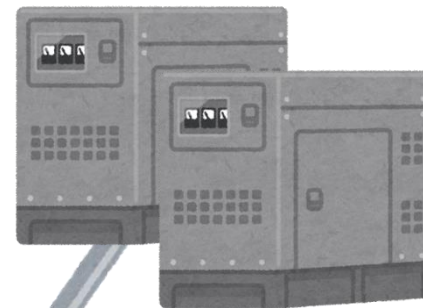
※代表的なものは硫酸、過酸化水素水  
アンモニア、塩酸、フッ化水素酸など

## 半導体工場

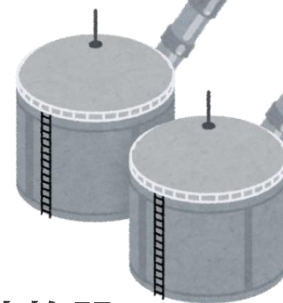
クリーンルームの  
空気清浄度を管理



製造工程

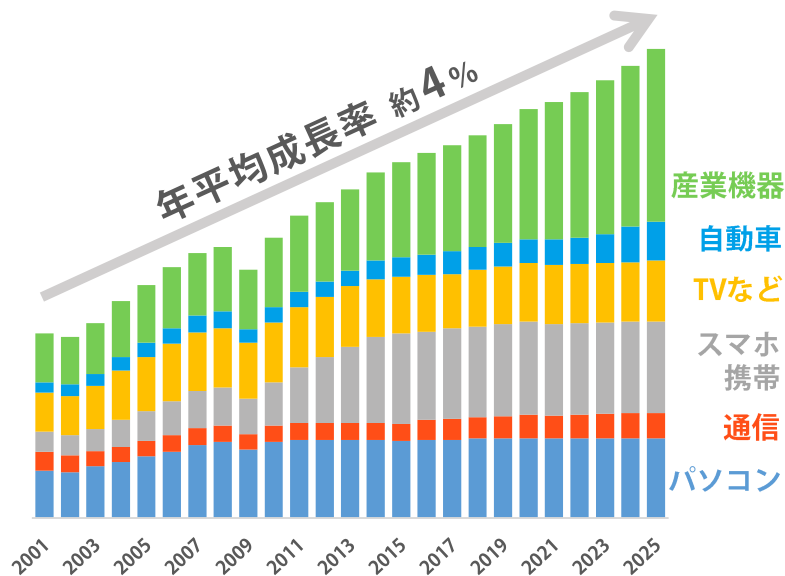


貯蔵施設



製造工程へ供給  
される薬液や純水  
の清浄度を管理

## 世界の電子機器生産金額予測



出典：IHSマークイット

パソコンやスマホだけでなく  
IoT、自動運転自動車、  
AI機器等が普及  
シリコンサイクルの影響が縮小し  
半導体市場は安定的に成長

更なる微細化要求に対応する製品の投入で  
今後も優位性を確保

# 通期の見通し



## 補聴器

最上位機種（リオネットシリーズ）の発売により上期の減収をカバー。  
通期では前年同期並みの売上となる見込み。



## 医用検査機器

耳鼻咽喉科市場での買い替え需要に衰えはみえず、売上は前年同期並みに推移する見込み。



## 音響・振動計測器

活況な設備投資に伴い、下期においても騒音計や振動計の販売が好調に推移する見込み。



## 微粒子計測器

半導体関連市場を中心に液中微粒子計や気中微粒子計の好調な販売が継続する見込み。

## 通期においても最高益更新が視野に

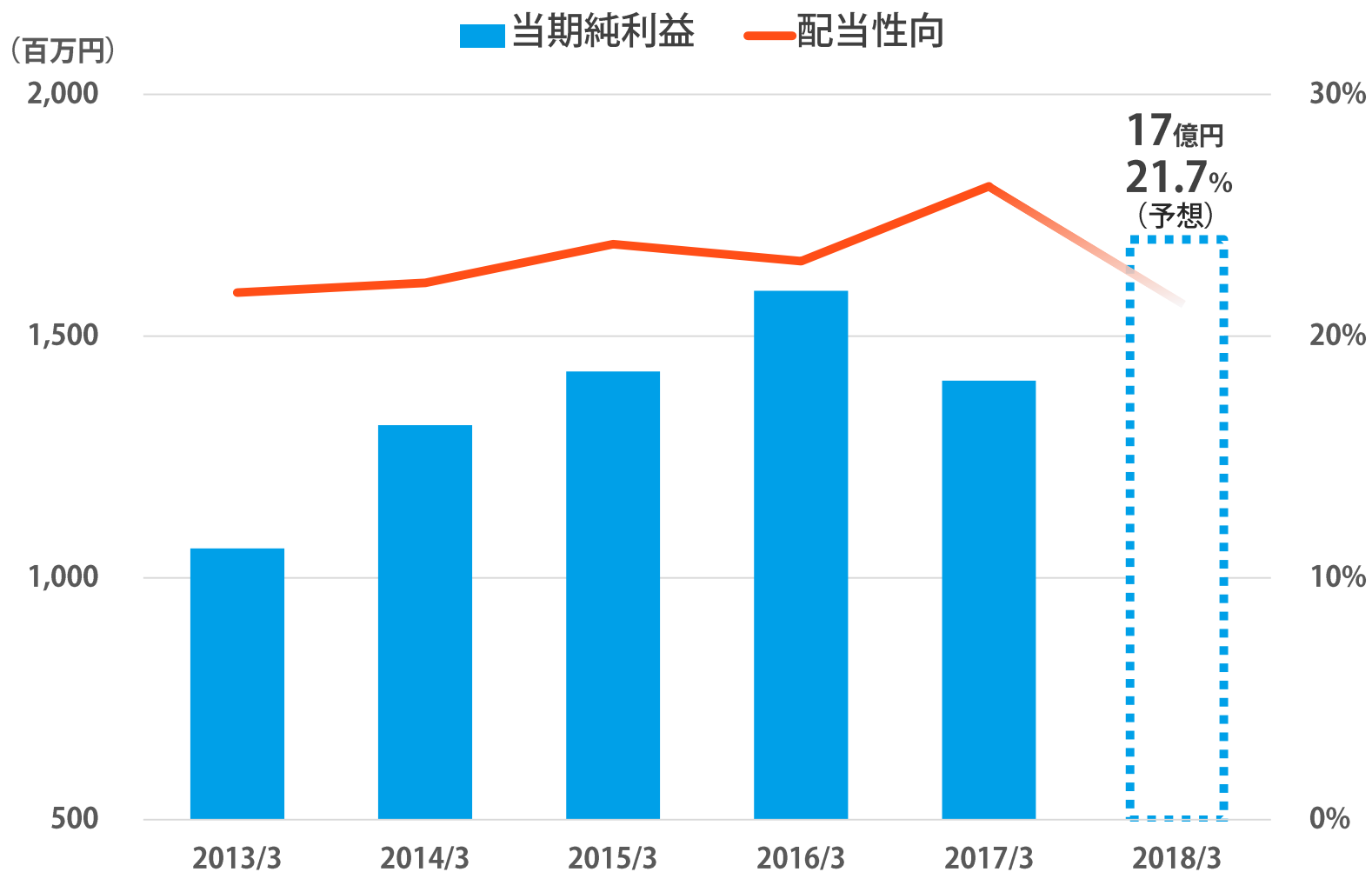
(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月期		前期比	
		第2四半期実績	通期見通し	増減額	増減率(%)
売上高	19,194	9,488	<b>19,600</b>	405	2.1
医療機器事業	11,373	5,587	<b>11,500</b>	126	1.1
環境機器事業	7,820	3,901	<b>8,100</b>	279	3.6
営業利益	1,867	1,000	<b>2,300</b>	432	23.2
経常利益	1,957	1,055	<b>2,400</b>	442	22.6
親会社株主に帰属する当期純利益	1,408	746	<b>1,700</b>	291	20.7
1株当たり当期純利益	114円72銭	60円77銭	<b>138円47銭</b>	—	—



# 当期純利益と配当金の推移

## 通期の利益水準に応じて見直し



---

4月25日 [オーディオメータ「AA-M1A」を新発売](#)

---

5月9日 [技術情報誌「Shake Hands」Vol.4発刊](#)

---

5月10日 [株式会社BONXとの業務提携](#)

---

7月20日 [ベトナム・ハノイでセミナーを開催](#)

---

7月21日 [ベトナム民間航空局と技術協力に関する覚書を締結](#)

---

8月21日 [デジタル補聴器「リオネットシリーズ」を新発売](#)

---

8月23日 [シニア層の補聴器に関する意識調査報告](#)

---

9月21日 [技術情報誌「Shake Hands」Vol.5発刊](#)

---

---

9月28日 [ポケットブル振動計「VM-63C」を新発売](#)

---

9月28日 [音響校正器「NC-75」を新発売](#)

---

10月2日 [ホーチミン市立耳鼻咽喉科病院と覚書を締結](#)

---

10月4日 [新製品「リオネットシリーズ」の耳かけ型補聴器が  
2017年度グッドデザイン賞を受賞](#)

---

10月11日 [航空機騒音観測システム「NA-39A」を新発売](#)

---

10月12日 [補聴器用電池と互換性のある充電池による世界初の  
「補聴器用ワイヤレス充電システム」を日東電工\(株\)と共同開発](#)

---

10月26日 [世界初の軟骨伝導補聴器を発売](#)

---

## 従来の電池と互換性のある ワイヤレス充電システム



日東電工(株)と共同開発した  
補聴器充電システムを  
2018年6月発売予定

## 軟骨伝導補聴器



全く新しい方式の補聴器を  
11月13日に発売開始

**リオンならではの技術で付加価値を提供**



**リオンはすべての行動を通して  
人へ 社会へ 世界へ 貢献する**

**Contributing to people, society and the world through all our activities**